

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第31号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月29日（月） 11時07分ごろ	
発生場所	沖縄県座間味村座間味港 座間味港外防波堤灯台から真方位090° 160m付近 (概位 北緯26° 12.8′ 東経127° 18.0′)	
事故等調査の経過	平成22年6月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 旅客船 ^{あすかつー}飛鳥Ⅱ、50,142トン 140287、郵船クルーズ株式会社</p> <p>B 搭載艇 ^{アスカツ}ASUKAⅡ5、19トン 235-46350、郵船クルーズ株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級海技士（航海）</p> <p>B 艇長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B なし</p>	
損傷	<p>A なし</p> <p>B プロペラガード及び船底に擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>A 船は、座間味港南方沖に錨泊して、B艇を降下した。</p> <p>B艇は、A船から座間味港フェリーターミナルまで旅客を運んでいた。</p> <p>B艇は、艇長ほか2人が乗り組み、旅客56人を乗せ、船首約0.3m、船尾約1.0mの喫水でA船を出発し、座間味港に向け航行中、北東の風に圧流され、平成22年3月29日11時07分ごろ、船尾船底が浅所に乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約2～3m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>B艇は、座間味港において、同港フェリーターミナルに向け航行中、うねり及び風が操船に与える影響を考慮せずに航行したため、圧流されたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、B艇が、座間味港において、同港フェリーターミナルに向け航行中、うねり及び風が操船に与える影響を考慮せずに航行したため、南方に圧流され、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	